

【質問内容】

1. 財政見直しについて
2. 情報セキュリティ対策について

〔6番 作野幸憲君 質問席〕

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野幸憲議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 議席番号6番作野幸憲でございます。

本日最後の一般質問になりますが、緊張感を持って質問をしたいと思います。

私は、2期目の4年間、主に行財政改革、そして財政、そして情報化のさまざまな件について一般質問をさせていただきました。今任期の最後の一般質問も「財政見直しについて」と「情報セキュリティ対策について」質問をいたしますので、よろしく願いいたします。

それでは最初に、「財政見直しについて」質問をさせていただきます。

今回この質問をするのは、ことし12月に示される予定のゼロベースから見直しをされるはずの新しい中期財政計画の姿がいまだ全く見えてこないから、今回質問をさせていただきます。

なぜ執行部がゼロベースからの見直しをすることになったかということ、それはことし3月定例会の予算審議にさかのぼりますので、市民の方の中にはこのことをご存じない方もおられると思いますので、簡単に振り返って、まずは経緯を説明させていただきます。

まず、ことし3月定例議会では、平成28年度補正予算案を審査いたしました。主なものは、市立病院の決算における不足金、欠損金です。不足分については、一般会計からの繰入金として毎年出しておりますが、平成27年度は約5億7,000万円だったものが、可決した平成28年度補正予算（第7号）の2億1,700万円を入れると、平成28年度は7億8,700万円に膨れ上がっており、安来市財政本体に大きな影響を与えていること、そして平成29年度一般会計予算案は、総額277億7,000万円で提出されましたが、新聞にも取り上げられたように、議会からは昨年12月に示された中期財政計画の見込みを12億4,000万円上回る規模だったことなど、また自由に使える貯金とも言える財政調整基金の取り崩しが4億円余り多い6億8,000万円だったこともあり、予算案に反対する意見が複数出されました。昨年12月に説明を受けていた中期財政計画では、平成29年度の歳出総額は約265億円でしたから、その差額が12億4,000万円だったということです。そうじゃなくても、今年度から当分の間単年度収支は赤字状態が続くという計画となっていました。このことを踏まえ、議会からは必要性、緊急性のない事業は平成29年度から精査する必要があるとの意見が多く出ました。

そこで、執行部からは、このような状況を踏まえ、この予算案を再考する旨が議会に伝

えられ、平成29年度一般会計予算案は撤回され、総額276億円の執行部修正案が提出されました。わずか1億7,000万円の減額予算に対し、満足できないという意見もありましたが、執行部からは、中期財政計画と予算案の整合性がとれるよう、事業の必要性や実施の時期など、ゼロベースから見直すという考えが示されましたので、採決の結果、賛成多数で可決されました。このことが執行部がゼロベースの見直しをされることになった経緯だと私は思っております。つまり、このことを3月議会で約束いただいたと思っております。そして、議会としては、待ったなしの状況にある本市の行財政改革について、独自の立場から調査研究を行い、執行部の行財政改革への取り組み状況を逐次監視、検証することを目的とし、議長を除く20名での行財政改革推進特別委員会を設置いたしました。これが3月定例会の予算案審議などの様子だと思います。

その後、議会では行財政改革推進特別委員会に「財政計画等検証部会」と「公共施設等総合管理計画検証部会」の2つの作業部会を設け、今日まで精力的に検証を進めてまいりました。しかしながら、中期財政計画の妥当性や基金運用について検証を行っている財政計画等検証部会には、財政見直しについての目新しい考えなどはいまだに示されておられません。当初9月定例会には、ある程度のものが示されると思っておりましたが、このままの状態ではことし12月の新しい中期財政計画の提示時期にちゃんとしたものが示されるのか非常に不安ですし、心配をしております。

そこで、質問をいたしたいと思っております。

財政見直し作業はどこまで進んでいますか、まずは進捗状況をお尋ねしたいと思います。

▼○議長（田中武夫君）▽ 池田総務部次長。

▼○総務部次長（池田周一君）▽ 現在中期財政計画策定に向け、各事業の取りまとめ及び調整を行っている状況であります。

▼○総務部次長（池田周一君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 中期財政計画及び中長期財政見通しの策定は、例年6月ごろから始められるということを知っておりますが、この計画をつくられるに当たって、いま一つ策定までの流れがわからない部分もございますので、誰の指示によって誰がいつごろからどのようにこの中期財政計画をつくっていくのか、流れをまず説明していただけますでしょうか。

▼○議長（田中武夫君）▽ 池田次長。

▼○総務部次長（池田周一君）▽ 流れということですが、市長の指示によりまして、財政課が主管課となり策定作業を行っております。本年は5月から策定作業を開始しておりまして、作業といたしましては、各課ヒアリングを行った後に集約及び調整を行います。加えて、前年度決算の分析等を反映させた後に、10月までには内部協議を行い、当初予算編成作業までには決定するという流れになっております。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 今答弁の中で、市長の指示というのが一番最初に出てきたと

思います。市長の指示はどのような指示が出ておりましたでしょうか。

▼○議長（田中武夫君）▽ 池田次長。

▼○総務部次長（池田周一君）▽ 中期財政計画につきましては、例年市長の指示によって策定しておりますが、特に今年度につきましては、例年以上に精査の上、策定するように指示を受けております。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 今例年とは違ってという答弁がありました。私はことし12月に示される新しい中期財政計画及び中長期財政見通しは、5年後、遅くとも10年後には単年度収支の赤字を黒字にするということは、最低でも明確にされるべきだと思っておりますが、規範や数値目標も含めた中長期的な視点での財政規律、方針は決まっておりますでしょうか、お答えをお願いいたします。

▼○議長（田中武夫君）▽ 池田次長。

▼○総務部次長（池田周一君）▽ 規範ということですが、それは当初予算の編成方針ということだと思っております。毎年度、当初予算編成までのところで予算編成方針を策定をいたしまして、管理職会議で周知をして予算編成方針を示すこととしております。今までも中期財政見通しでも説明をしておりますが、大型建設事業などを伴う起債償還などが完了するまでは、短期間での単年度黒字化は困難と考えております。できる限り速やかに黒字化が達成できるよう努めてまいります。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 歯切れがよくないですが、財政を見ていくに当たっては、数値目標というものははっきり示して、それで単年度どうやっていくかというのを考えるのが私は普通の考え方だと思うんですが、今私は、安来市が問われているのは財政規律のことなんだと思います。歳入と歳出のバランスが保たれ、そのための規範や数値目標なども含め、財政が秩序正しく中長期的に安定して運営されることが、今地方自治体には求められているんだと私は思います。

先ほど財政規律ということを申し上げましたが、決まっているのか決まっていないのかよくわかりませんが、このままでいきますと、中期財政計画と予算案の整合性がとれずに、来年度予算編成も含めてこれから予算編成していくのかなかなか大変じゃないかと思うんですが、どのようにお考えでしょうか。

▼○議長（田中武夫君）▽ 池田次長。

▼○総務部次長（池田周一君）▽ 先ほど来財政規律ということをおっしゃいますが、財政規律というものは、安来市の中には明確なものはありません。先ほども申しました中期財政計画を基本といたしました予算編成方針、これでもって進むこととしております。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ それでは、3月議会で中期財政計画をゼロベースで見直しすると答弁をしておられますが、私が考えるゼロベースの見直しには、先ほども例年とは違

うという話がありましたが、例年にも増して、相当の時間と努力が必要だと思いますが、執行部が考えておられる今回のゼロベースの見直しとは、具体的にいつもと違ってどのような作業のことを言っておられるのかお答えをいただきたいと思います。

▼○議長（田中武夫君）▽ 池田次長。

▼○総務部次長（池田周一君）▽ ゼロベースの考え方ではありますが、具体的には新規事業、継続事業に限らず、必要性、緊急性、費用対効果、実施時期、事業規模等を再検証をすることだというふうに考えております。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 3月の私の一般質問の答弁で、事業の見直しについても答弁しておられます。その中で、予算査定之都度、全ての事業を見直しているとのこと、何か今回のゼロベースの見直しと全く同じじゃないかと思うんですが、どこか違っておりましたでしょうか。

▼○議長（田中武夫君）▽ 池田次長。

▼○総務部次長（池田周一君）▽ 先ほども申しましたが、例年以上に精査をしております。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 例年以上、時間をかけておられるのかどうなのかはわかりませんが、そう言っておられるわけですから、我々はそれを信じるしかありませんので。

そして、このゼロベースの見直しは、早く見直しをされないと、それから次の段階に私は進んでいけないのかなと思うんですが、このゼロベースの見直しはいつごろまでに終わる予定にしておられますか。

▼○議長（田中武夫君）▽ 池田次長。

▼○総務部次長（池田周一君）▽ 先ほど来スケジュールのところで申しておりますが、中期財政計画策定までのところであります。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 中期財政計画はちゃんと出すという意味なんだろうと思いますが、昨年も私、ことしだったか質問をしたときに、一般財源のみの事業を40減らすということを議会で答弁されたんですが、結果的には4件しか、たしか見直しができなかったというようなこともありました。仮にゼロベースの見直しをしたんだが、思うように成果が出ない場合はどのようなことをされますか。現状の安来市財政を考えたときに、また先送りするとか、財政のことを、やってみたがだめだったからなんていうことは、時間がたてばたつほど財政厳しくなりますので、そういうことは私は許されないと思うんですが、お考えはいかがでしょうか。

▼○議長（田中武夫君）▽ 池田次長。

▼○総務部次長（池田周一君）▽ 仮の話ということですので、お答えにくいところがあります。

成果につきましては、短期間だけではなく、ある程度長期的スパンで考えざるを得ないというふうに考えております。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 当然このゼロベースの中には、3月議会の答弁の中でもあったように、市立病院の新病院改革プランでの負担金についても新たな中期財政計画で示される旨を発言しておられます。人件費の削減も含まれてくると思いますが、このあたりの議論をどこまで踏み込んで進めておられますでしょうか。

▼○議長（田中武夫君）▽ 清水部長。

▼○総務部長（清水保生君）▽ 現在職員数を部門別に細分化をして、安来市と人口規模や産業構造が類似している団体と比較しながら、構造的な特徴なども含め分析を進めております。名称はさておきながら、職員の定員管理計画は、ただ単に職員数を削減するための計画であってはならないと思います。今後見込まれます行政需要や市民サービスにしっかりと対応ができ、また一方では定年退職者や再任用職員の推移による将来的な人件費などを総合的に勘案しながら年内には計画を策定する考えでございます。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ その質問は次にしようと思っておりましたが、その市立病院の新病院改革プランの負担金等について、中期財政計画の中で新しいもので示すということだったのですが、この点についてはどのようなお考えでしょうか。

▼○議長（田中武夫君）▽ 清水部長。

▼○総務部長（清水保生君）▽ 今答弁申し上げたとおりでございます。今現在分析を行っておりますので、その定員計画を踏まえながら、中期財政計画のところにそれを盛り込んでいくという考えでございます。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ それも含めて示すということでございますので、期待して待ちたいと思います。

また、人件費ということになりますと、3大事業があったということで、安来市はしばらくの間副市長2人体制が続いているわけですが、これはいつまで続けられるお考えでしょうか。もうお考えが決まっていればお答えをいただきたいと思います。

▼○議長（田中武夫君）▽ 近藤市長。

▼○市長（近藤宏樹君）▽ 副市長2人体制について答弁をいたします。

私は、最初の1期目から事業を円滑に、あるいは市政を活発にしよう、このために公約で副市長2人体制をうたっておりました。しかし、ある時期なかなかままならぬことがありまして1人体制でございましたが、ご案内のようにここ数年間、安来中、消防庁舎、給食センター、市庁舎、総合文化ホール建設、あるいは中海ふれあい公園、あるいは月山整備など多くのハード事業がありました。ちょうどこれは議員ご案内のように合併特例債の期限等がありまして、ここにいろいろ集中したわけでございますが、副市長2人体制で

ほぼ予定どおり完成いたしました。私は本当によかったと思います。今後も切川バイパス、あるいはスマートインターチェンジ整備、工業団地の造成、月山整備、ふれあい公園整備、中海架橋等、まだ建設が予定を、たくさんございます。これらを総合的に考えて今後考えていきたい、こういうふうに思っております。

▼○総務部次長（池田周一君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 私たち議員側も、執行部に言うだけじゃなくて、議員定数、今回減らすことができなかつたわけですが、そういう課題についても議員側としても襟を正して今後やっていかないといけないという思いは持っておりますので、私の思いですが、述べさせていただきたいと思います。

きょうこうやって財政見直しについて質問をさせていただいたわけですが、なかなか明確なお答え、歯切れがよかつたかなという、そうではなかつた部分があります。しかしながら、3月議会でお約束をいただいたことでございますので、執行部の皆さんを信じて、12月議会では市民、議会が納得できる中期財政計画が出てくるものと信じております。大変恐縮なんです、市長さん、そここのところ、3月議会でも執行部側からそういう発言をしていただいておりますが、改めて12月議会ではしっかりしたものを出すよということ、できたらこの場でお約束いただけると議会側も安心すると思っておりますが、いかがでしょうか。

▼○議長（田中武夫君）▽ 近藤市長。

▼○市長（近藤宏樹君）▽ 議会側が納得していただけるかどうかわかりませんが、できる限り理解していただけるような、その時点で丁寧な説明をすべく、中期財政計画をお示ししたい、こういうふうに思っております。

なお、最初に赤字を黒字にということでございましたが、参考までに県で8市の取り崩し状況、単年度で、もう松江市は29年度でもう3億円入れます。30年度が8億円、ここずっと30、ずっと入れていきます。出雲市も取り崩して、最初は7,100万円ですが、次は12億500万円、30年度は2億4,900万円、31年度は2億円ずっと入れていきます。雲南市も、最初は1億5,000万円ですが、31年は1億5,000万円、次が2億5,000万円、大田市も、実質収支はもうマイナスですから、赤字ですから4億6,000万円、次8億3,000万円、10億3,000万円、浜田市も、これ言いませんが、4年間で、30年から33年まで、4カ月で繰り入れるのが4年で42億円入れます。そして益田市もです。このように、全て赤字なんです。29年、もう赤字のところもある。安来市はまだ1年先なんです。全部一般会計を取り崩して基金を積み、繰り入れておるんです。ということをまずご理解いただかないと、安来市だけ二、三年後に赤だ赤だ赤だ、赤字再建団体だなんていうイメージが出ますと大変ですので、このきちんとした、インターネットでとっていただければ全部わかりますから、そういうご理解の上できちんと納得をしていただきますようによろしく願いいたします。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ それは、ほかがそうだからということと、ほかの市町村にもそれなりのいろいろな大きい事業をやるとかこれからの事情がありますので、一概に数字

だけを言われるというのは、私はそれは財政規模も違うし、いろいろなものが違って居ますから、単純にそういう中身を精査した上でのそういうことであればある程度納得できますが、今の発言については数字を並べて言われただけでは、全てそれが納得できるかと言われると納得できかねる部分もありますので、全国的な流れはそうなってますよという程度に聞きとどめさせていただきたいと思います。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ そうはいつでも、市長さんから完全なもんは出せんかもしれんけど、12月にはしっかりと出すからということをお約束していただきましたので、この質問はこれで終わりたいと思います。

次に、大項目の「情報セキュリティ対策について」質問をしたいと思います。

私は、市のホームページを初め、安来市の情報化に関するさまざまな件について、議会に出てから多くの質問や提言をさせていただきました。今回この質問をすることにさせてもらったのは、ことし6月11日に発生した安来市のホームページの障害が、もう3カ月近くたとうとして居るわけですが、なかなか完全復旧に至っていないことを大変大きな問題だなどと思っておりますので、今回質問をさせていただきます。

今や市のホームページは、市民への情報発信の中心ですし、対外にもホームページがないということは、もう考えられない時代がずっと前から来ていると思っております。今回の障害も、当初はすぐ復旧するだろうと思っておりましたが、いまだ100%完全に復旧したかということ、まだ復旧していないようです。現状どこまで復旧したかお答えをお願いいたします。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ このたびのホームページ障害により、市民の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。本障害は、外部からの攻撃やウイルス感染によるものではなく、個人情報等、外部への流出もございませんでした。復旧作業に当たりましては、各部署に市民の皆様が多く閲覧されると思われるものを優先して行うよう指示をし、現在行政のホームページはおおむね復旧することができたと考えております。

なお、スマートフォン版及び携帯電話版ページの普及が十分ではないため、これらにつきましても、引き続き復旧に努めておるところでございます。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 今の答弁をお聞きしますと、3カ月ぐらいもうたとうとして居りますが、スマホ版などの復旧がまだなのは、これは私としては大きな問題だなどと思っております。数年前だったでしょうか、USBの紛失ということがあって、これが議会でも大きな問題になりました。今回の件は性質は違うんでしょうが、私はそれ以上の事故だと考えてもいいぐらいだと思っております。

そこで、お尋ねしたいと思いますが、今回のこの障害の原因は何だったんでしょうか。

究明できておりますでしょうか、お答えをお願いいたします。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ 本障害は、ネットワーク機器の更新作業中にホームページサーバーが予備機に切りかわる際、予備機を含め破損が起きたものと考えられます。ネットワーク管理の委託業者等と調査をいたしました。その原因は特例ができておりません。

以上でございます。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 特定ができていないということですが、私も以前サーバーの管理の仕事などを昔手がけていたことがありますので、どうしても原因がわからないことも、過去に私もありました。その状況については多少なりとも理解できますが、パソコンにしてもサーバーにしても、ログというものがあって、障害の履歴が残るような仕組みになっております。今のお話を聞きますと、それも破損をしたか何か障害があったんでしょうか。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ ログ、いわゆる稼働状況やアクセス状況の履歴を記憶したものですけれども、これも消失をしております。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 今までの話を聞きますと、要はバックアップ機能がうまくいかず、多くのデータが消失したということですが、消失したデータはどれぐらいありましたでしょうか、わかれば教えてください。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ 復旧作業を優先したため、そう出量の調査を行うまでには至りませんでした。25年3月以降に掲載をいたしました申請書書式、写真等に影響がございました。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ なかなかどれだけ消失したかはわからないようですが、そうであるならば、この安来市のホームページで公開されているページ数はどれぐらいあって、どれぐらいのページに影響が出たか、わかれば教えてください。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ 公開ページ数は5,847ページで、そのうち16.3%に影響が出ております。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 16.3%、5,847ページのうちというのと、簡単に計算しても大まかに多分900を超えるぐらいのページ数に影響が出たということは大変な事故だったと言っても過言ではないと思います。

そうしますと、消失したデータについてはどのような対策をされ、どのように復元をされたのか、お答えをお願いいたします。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ 初めに、業者による復旧作業を行いました。この作業により復元できなかったものにつきましては、各部署の職員がそれぞれの部署で保存をしていた申請書式や写真等から復元を行ったところでございます。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 私が聞いたところでは、各部署の職員さんが個人用として使っておられるパソコンに消失したデータがあった場合には、それを復元したり、保存してなかったものについては、また改めて作り直したりされたということ聞いております。部署によっては相当な時間と労力を使われた、これは人件費的なことで考えると、相当な時間と労力の損失があったことになると思います。

次に、このウェブサーバーを管理をしておられたのはどなたになりますでしょうか。業者であれば、今回の復元作業の経費はどなたが負担されましたでしょうか、また責任の所在はどうなっておりますでしょうか、お答えをお願いいたします。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ ウェブサーバーの管理は、本市が業務を委託しておる業者が行っております。業者側は、今回の復旧作業と原因調査のため多くの人員を投入しております。また、再発防止のため、予防保守としてサーバーの使用部品の交換なども行っておりますが、これら全て経費は業者側が負担をしております。

以上でございます。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 業者側が負担しているということは、業者側の責任だったということよろしいですね。

そうすると、この情報化関係はお金がかかる部署なんです、実際に。サーバー管理については業者さんにメンテナンス料を払っておられると思いますが、メンテナンスはどのように実際に実施されておりましたでしょうか、お答えをお願いいたします。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ メンテナンスは、常駐の保守業者が日常点検においてホームページが正常に公開されているのかを確認に加え、サーバーの空き容量や障害の監視、ホームページ管理システムの設定作業等を行っております。

なお、障害発生日前の日常点検では特に異常などは見られずに正常に稼働をしておりました。

以上でございます。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ この業者さんに払っておられるメンテナンス料、がわかれば

教えていただきたいと思います。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ ハードウェア保守を含む地域イントラネット保守料は、年間約3,700万円となっております。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 3,700万円と聞いて高いと思われた方もあるでしょうし、そんなもんかなと思われた方もあるかと思います。私は、昔こういう仕事をしておりましたので、サーバーの地域イントラネットとかの関係とかでいうと、そう多い金額ではないのかなと思っております。これは保険ですから、こういうことがないためにお金をかけるわけですから、財政のほうでいうと、こういうところにはある程度事故が起こったら大きな影響が出るわけですから、集中してある程度今後は予算を使うようなことも考えていただきたいと私は思っております。

また、今回のこの障害事故を踏まえて、新たに対策の強化は行われましたでしょうか、お答えをお願いいたします。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ 関連機器につきまして、今回の障害に関する可能性が高いサーバーの主要部品を交換をいたしました。また、データのバックアップにつきましては、これまでの二重化したデータの内部保存に加え、外部メディアへの定期的なデータ保存を行うことといたしました。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 外部へも行ったということですが、職員さんも今回こういう事故があったので、個人用のパソコンに保存することなども少しは考えていただく、次に今年度中に新しい安来市のホームページができる予定になっておりますが、今回の事故のようなことはないシステムになっていますでしょうか。お答えをお願いしたいと思います。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ 新しい安来市のホームページは、島根県が設置いたしますサーバーで公開することになっており、セキュリティー対策を含め、管理体制がより強化されたものとなっております。また、本市における障害時の早期復旧に備えたバックアップ対策として、外部メディアへの定期的なバックアップを実施する予定としております。

以上でございます。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 通告にはしておりませんでした。今安来市のホームページは、各部署でアップするタイプの形をやっておられます。今回こういう事故が発生して、この新しいホームページも同じような方式でされるのか、一括してどっかが管理するのか、そのところがわかればお答えをいただきたいと思います。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ そのあたりも含め、今検討している状況でございます。

以上でございます。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ そのあたりは、今回の事故を踏まえて、各部署でアップするという事は、今回のようなリスクも逆に言うと高い部分もあるかと思えます。なかなか復旧していくのに時間がかかるということもありますので、しっかり検討をしていただきたいと思えます。

それでは、新安来庁舎も完成して、情報化の環境は最低限のところをしっかり確保していただいたと思っておりますし、安来市にも情報化計画というのが実はあるんですが、今や時代に合っているとは言いがたいような計画でして、この計画も平成31年には10年間の計画期間が終わる予定になっております。安来市情報化計画の見直しも含めて、今後の情報セキュリティ対策をどのように考えておられるのかお答えをお願いいたします。

▼○議長（田中武夫君）▽ 横田部長。

▼○政策推進部長（横田一道君）▽ 情報セキュリティ対策につきましては、マイナンバー制度の開始に伴い、国が示す自治体情報システム強靱性向上モデルへの対応を行い、業務系のネットワークとインターネットを分離するなど、セキュリティの強化を図っております。

また、本年7月からマイナンバーの情報連携に伴い、国が求める安全管理措置に対応したセキュリティポリシーの改正と、これに基づく管理運営体制等を進めておりますので、情報化計画の見直しに当たってはセキュリティ対策をより強化する内容を盛り込む必要があると考えておるところでございます。

以上でございます。

▼○議長（田中武夫君）▽ 作野議員。

▼○6番（作野幸憲君）▽ 答弁ありがとうございました。

まだ時間は少々残っておりますが、準備した質問は全てお答えいただきましたので、私の今期最後の一般質問を以上で終わりたいと思えます。ありがとうございました。

▼○議長（田中武夫君）▽ 以上で6番作野幸憲議員の質問を終わります。